なるべし上古は辺又穀なり蝦夷潮王化
よおれて始て水田を耕さ稲を植ることあさ田たあい田たいふ名ハ出しまや齶或
俗或秋の字を書くるハ和訓のへとと横音
色さるを仮て書くるなるべし抑よ俗ことを
をあさとるたいい燒鍾をやい雅抑といふ
事度の事之ハ一ツ村の名と見へ侯
日本紀十一ニ書天平又年聖武御宇十二月己未
条下に出羽柵遷置於秋田村高清水岡
云々今を而詳なるを出羽の事ハ第一ニ書

よ記し伝れを曙之那中分村ニ成ル小事考
産物ハ紫根干蕨ニ成ル鰈狼狐猪羆
昆布海豹

日本書紀曰　齊明天皇八代三十四年夏四月阿
倍臣率船師一百八十艘伐蝦夷齶田渟代
二郡蝦夷望怖乞降於是勅軍陣船於齶田
浦齶田蝦夷恩荷進而誓曰不為官軍故持
弓矢但奴等性食肉故持若為官軍以儲弓
矢齶田浦神知矣將清白心仕官朝矣仍授
恩荷以小乙上定渟代津軽二郡郡領遂於